

タカラスタンダード株式会社

2026年3月期

# 決算説明資料

2026年4月30日

証券コード  
7981

水まわりって、大切だから

**Takara standard**

## 独自素材「高品位ホーロー」を使った製品を展開する総合住宅設備機器メーカー

社名	タカラスタANDARD株式会社
本社	〒536-8536 大阪府大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号
創業	1912年（明治45年）5月30日
代表取締役社長	小森 大
資本金	263億56百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：7981）
業績	売上高 : 2,527億円 営業利益 : 190億円 (2026年3月期)
従業員数	6,505名（2026年3月末現在）

### 主な事業内容

総合住宅設備機器の製造・販売



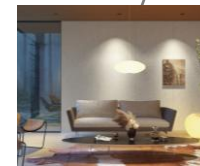
キッチン



浴室



洗面化粧台



ホーロー壁装材



給湯器  
(2026年8月販売終了予定)

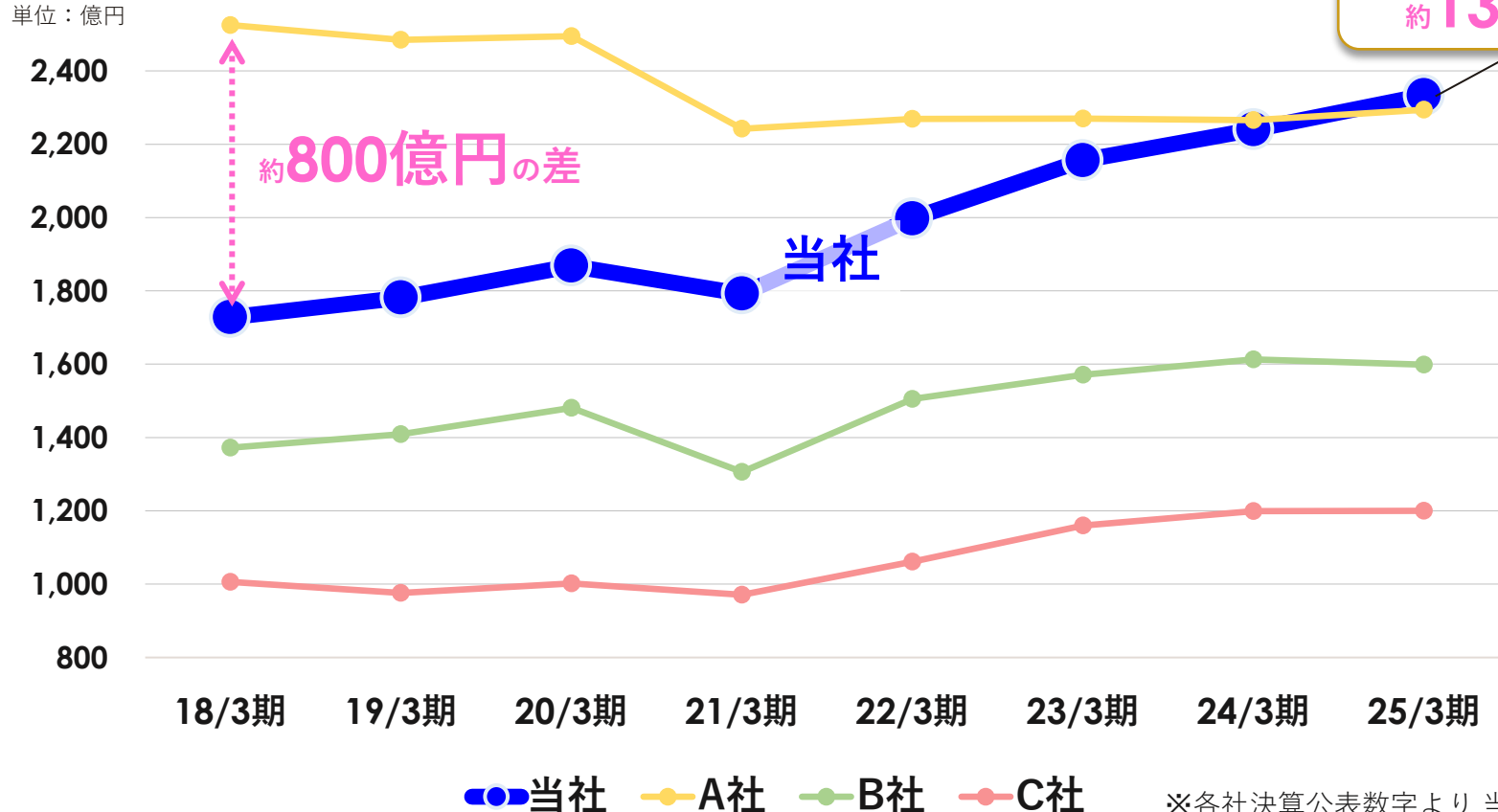
「国内水まわり事業」「海外事業」「新規事業」の3つの事業を中心に展開。  
各市場に応じた販売先に営業し、最終的にエンドユーザーへ製品を提供。



# 2025年3月期はキッチン+浴室+洗面化粧台の合計金額 業界 No.1 を達成 各製品別においても業界トップクラス

国内主要水まわり製品(キッチン+浴室+洗面) 売上推移

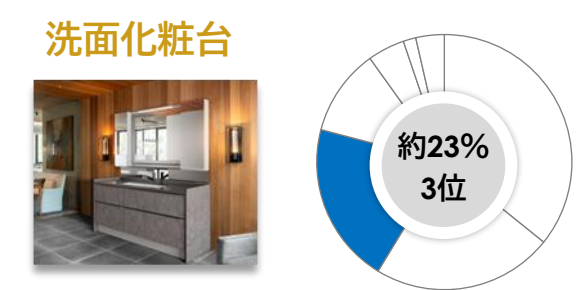
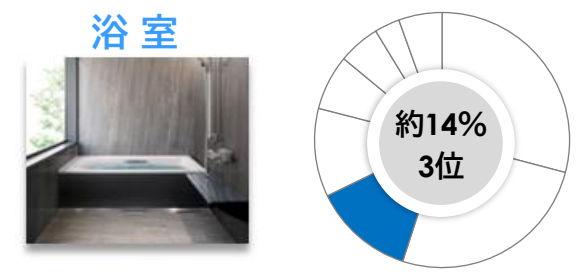
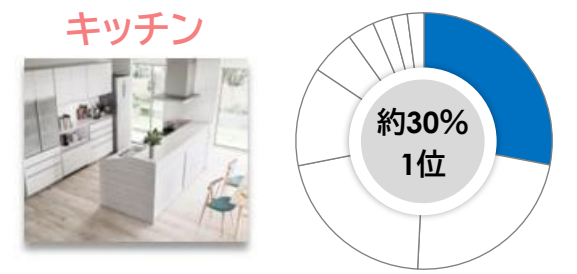
単位：億円



**Takara standard**  
18年3月期比  
約**135%UP**

約**800億円**の差

## 製品別業界シェア (金額ベース)



※各社決算公表数字より 当社調べ

※2024年度時点 当社調べ

2026年3月期  
実績

売上高・各利益とも**過去最高**、各利益は前期比**22%超**の伸び

売上高 **2,527**億円(前期比+3.9%)、営業利益 **190**億円(同+22.1%)

- 新築向けが戸建・集合とも堅調、リフォームも下期は好調に推移したことで増収
- 増収に加え、粗利率の改善、経費の抑制により大幅増益

2027年3月期  
業績予想

近年の堅調な業績を鑑み、中計最終年度として公表していた業績目標(売上2,500億円、営業利益200億円)から上振れ。売上高・各利益とも**過去最高**の更新を予想

売上高 **2,600**億円(前期比+2.9%)、営業利益 **208**億円(同+9.0%)

- 新築・リフォームともに業容拡大を目指す
- 経費増を見込むものの、売上増、単価上昇により過去最高益の更新を見込む

ROEは中計で目標として掲げた**8.0%**の達成を見込む

## 株主還元

配当金は前期から38円、当初予想から16円増配し、年間**116円**(配当性向**50%**)

- 27/3期も8円増配し、年間**124円**(配当性向**50%水準**)
- 自己株式取得は、26/3期(前期)~27/3期(今期)で約**220億円**を計画し、26/3期は104億円取得済
- 27/3期取得は約120億円想定。**総還元性向130%水準**。計画に沿った規律ある還元策を実施

**1. 2026年3月期 決算概要 P. 6 ~ 16**

2. 2027年3月期 業績予想 P. 18 ~ 27

3. Appendix P. 29 ~ 37

- ・売上高・各利益とも通期の過去最高を達成
- ・増収は新築向けが引き続き堅調であったことに加え、リフォームも下期は好調に推移
- ・営業利益は増収に加え、単価上昇、合理化・コストダウン推進により、大幅増益
- ・純利益は政策保有株式などの非事業用資産の売却を進めたことで、高い増益率となった

単位：億円

	2025年3月期		2026年3月期		実績比	
	実績	対売	実績	対売	増減	増減率
売上高	2,433		<b>2,527</b>		<b>+ 93</b>	<b>+ 3.9%</b>
売上総利益	845	34.7%	<b>901</b>	<b>35.7%</b>	<b>+ 56</b>	<b>+ 6.7%</b>
販売費及び一般管理費	688	28.3%	<b>710</b>	<b>28.1%</b>	<b>+ 21</b>	<b>+ 3.2%</b>
営業利益	156	6.4%	<b>190</b>	<b>7.6%</b>	<b>+ 34</b>	<b>+ 22.1%</b>
経常利益	160	6.6%	<b>196</b>	<b>7.8%</b>	<b>+ 36</b>	<b>+ 22.9%</b>
純利益*	110	4.6%	<b>150</b>	<b>6.0%</b>	<b>+ 39</b>	<b>+ 35.9%</b>
ROE	5.8%		<b>7.7%</b>		<b>+1.9P</b>	

	予想 (26/2/3)		予想比	
	実績	対売	増減	増減率
	2,510		<b>+ 17</b>	<b>+ 0.7%</b>
	-	-	-	-
	-	-	-	-
	178	7.1%	<b>+ 12</b>	<b>+ 7.2%</b>
	183	7.3%	<b>+ 13</b>	<b>+ 7.5%</b>
	136	5.4%	<b>+ 14</b>	<b>+ 10.8%</b>
	7.0%		<b>+0.7P</b>	

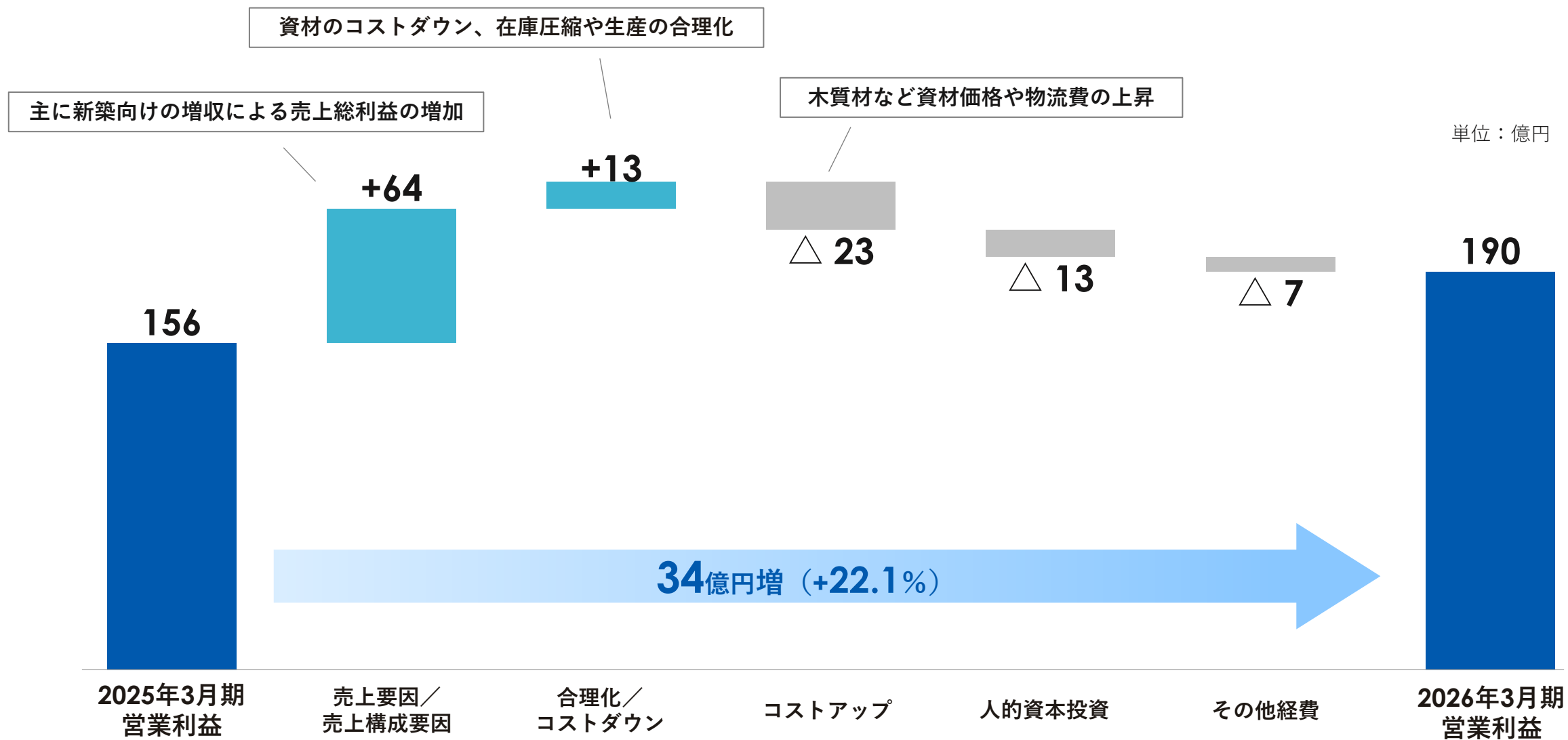
※本資料における「純利益」は、親会社株主に帰属する当期もしくは四半期純利益を指す

# 経営成績（四半期別対比）

- ・売上は、建築基準法等改正の影響もあり上期は高い増収率だったが、反動減があった下期も新築のシェア拡大、リフォームの回復で増収を確保
- ・売上総利益率は、全四半期においてYoYで上昇。新築中心に不動産価格上昇に伴う上位価格帯への移行やオプション品拡販などの単価上昇が進む
- ・経費は、人件費の増加やインフレに伴う諸経費の増加はあったものの、合理化やコストダウンが進み、対売では抑制。4Qは好調な業績を反映した従業員への還元を強めたことに伴い上昇するも、通期予想に折込済のため想定内で推移

単位：億円

	2025年3月期								2026年3月期															
	1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		4Q (1-3月)		1Q (4-6月)				2Q (7-9月)				3Q (10-12月)				4Q (1-3月)			
	実績	対売	実績	対売	実績	対売	実績	対売	実績	対売	増減	増減率	実績	対売	増減	増減率	実績	対売	増減	増減率	実績	対売	増減	増減率
売上高	573		586		683		590		<b>613</b>		<b>+40</b>	<b>+7.1%</b>	<b>617</b>		<b>+31</b>	<b>+5.3%</b>	<b>695</b>		<b>+11</b>	<b>+1.7%</b>	<b>600</b>		<b>+10</b>	<b>+1.7%</b>
売上総利益	197	34.5%	198	33.9%	242	35.5%	206	34.9%	<b>214</b>	<b>34.9%</b>	<b>+16</b>	<b>+8.4%</b>	<b>217</b>	<b>35.2%</b>	<b>+18</b>	<b>+9.5%</b>	<b>253</b>	<b>36.5%</b>	<b>+11</b>	<b>+4.7%</b>	<b>215</b>	<b>35.9%</b>	<b>+9</b>	<b>+4.5%</b>
販売費及び一般管理費	166	29.1%	170	29.0%	173	25.3%	178	30.2%	<b>172</b>	<b>28.1%</b>	<b>+5</b>	<b>+3.3%</b>	<b>172</b>	<b>27.9%</b>	<b>+2</b>	<b>+1.4%</b>	<b>179</b>	<b>25.8%</b>	<b>+6</b>	<b>+3.6%</b>	<b>186</b>	<b>31.0%</b>	<b>+7</b>	<b>+4.2%</b>
営業利益	30	5.4%	28	4.9%	69	10.1%	27	4.7%	<b>42</b>	<b>6.9%</b>	<b>+11</b>	<b>+35.8%</b>	<b>45</b>	<b>7.3%</b>	<b>+16</b>	<b>+57.6%</b>	<b>74</b>	<b>10.7%</b>	<b>+5</b>	<b>+7.4%</b>	<b>29</b>	<b>4.9%</b>	<b>+1</b>	<b>+6.6%</b>
経常利益	32	5.7%	28	4.9%	71	10.4%	27	4.7%	<b>44</b>	<b>7.3%</b>	<b>+11</b>	<b>+36.3%</b>	<b>45</b>	<b>7.3%</b>	<b>+16</b>	<b>+58.9%</b>	<b>76</b>	<b>11.0%</b>	<b>+5</b>	<b>+7.8%</b>	<b>30</b>	<b>5.0%</b>	<b>+2</b>	<b>+8.8%</b>
純利益	20	3.6%	18	3.1%	51	7.6%	20	3.5%	<b>30</b>	<b>5.0%</b>	<b>+10</b>	<b>+48.7%</b>	<b>38</b>	<b>6.3%</b>	<b>+20</b>	<b>+113.6%</b>	<b>57</b>	<b>8.3%</b>	<b>+5</b>	<b>+11.4%</b>	<b>23</b>	<b>3.9%</b>	<b>+3</b>	<b>+16.0%</b>



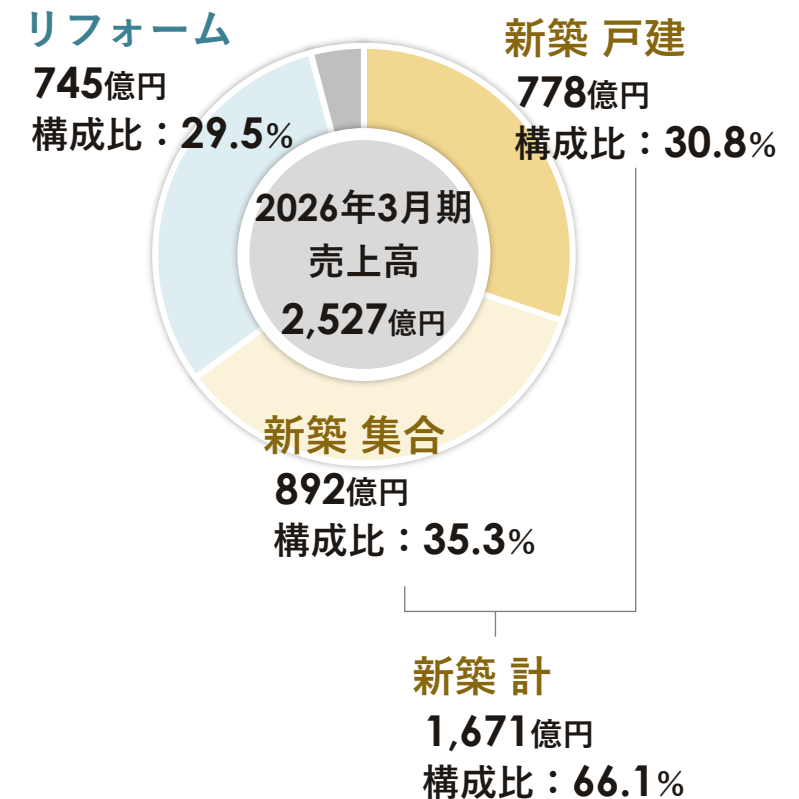
新築（戸建） | 商品単価の上昇及びシェアの拡大

新築（集合） | 首都圏をはじめ大都市圏の底堅い需要や物件自体の高級化などに伴う商品単価の上昇

リフォーム | ボリュームゾーン商品の仕様強化やお客様のニーズに添った商品提案の継続により販売台数増

単位：億円

		2025年3月期		2026年3月期			
		実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率
新築	戸建	748	30.8%	<b>778</b>	<b>30.8%</b>	<b>+30</b>	<b>+4.0%</b>
	集合	845	34.7%	<b>892</b>	<b>35.3%</b>	<b>+47</b>	<b>+5.6%</b>
	計	1,594	65.5%	<b>1,671</b>	<b>66.1%</b>	<b>+77</b>	<b>+4.9%</b>
リフォーム		727	29.9%	<b>745</b>	<b>29.5%</b>	<b>+17</b>	<b>+2.4%</b>
合計*		2,433	100.0%	<b>2,527</b>	<b>100.0%</b>	<b>+93</b>	<b>+3.9%</b>



※その他の売上高を含む

# 市場別の売上高（四半期別対比）

新築戸建：建築基準法改正の駆け込み需要(特に前期4Q・今期1Q)とその反動があったものの、ベースでのシェア拡大が進む

新築集合：上期に売上が若干偏ったものの、すべての四半期で増収を達成

リフォーム：各施策が奏功し、3Qから回復傾向に転じる。特に4QはYoYで+6.0%と大きく増収

単位：億円

		2025年3月期								2026年3月期															
		1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		4Q (1-3月)		1Q (4-6月)				2Q (7-9月)				3Q (10-12月)				4Q (1-3月)			
		実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率
新築	戸建	171	29.9%	176	30.0%	200	29.3%	201	34.0%	192	31.4%	+21	+12.6%	186	30.1%	+10	+5.7%	201	29.0%	+1	+0.8%	197	33.0%	△3	△1.5%
	集合	182	31.8%	203	34.8%	239	35.1%	219	37.1%	200	32.7%	+18	+10.2%	226	36.6%	+22	+11.0%	243	35.1%	+3	+1.6%	221	37.0%	+2	+1.2%
	計	353	61.6%	379	64.8%	440	64.4%	420	71.2%	393	64.1%	+40	+11.4%	412	66.8%	+32	+8.5%	445	64.1%	+5	+1.2%	419	69.9%	△0	△0.1%
	リフォーム	194	33.9%	179	30.7%	212	31.0%	141	23.9%	196	31.9%	+1	+0.9%	179	29.0%	△0	△0.4%	220	31.7%	+8	+3.9%	149	24.9%	+8	+6.0%
	合計※	573	100.0%	586	100.0%	683	100.0%	590	100.0%	613	100.0%	+40	+7.1%	617	100.0%	+31	+5.3%	695	100.0%	+11	+1.7%	600	100.0%	+10	+1.7%

※その他の売上高を含む

特に新築市場への販売が好調だったため、すべての製品部門において増収

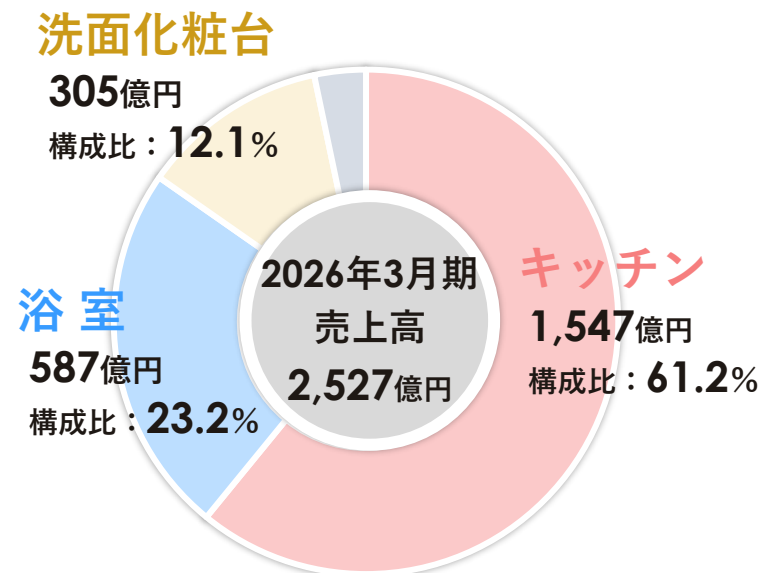
単位：億円

	2025年3月期		2026年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率
キッチン	1,490	61.3%	<b>1,547</b>	<b>61.2%</b>	<b>+56</b>	<b>+3.8%</b>
浴室	557	22.9%	<b>587</b>	<b>23.2%</b>	<b>+29</b>	<b>+5.3%</b>
洗面化粧台	286	11.8%	<b>305</b>	<b>12.1%</b>	<b>+18</b>	<b>+6.5%</b>
合計※	2,433	100.0%	<b>2,527</b>	<b>100.0%</b>	<b>+93</b>	<b>+3.9%</b>

新規及び海外事業(内数)

ガラスフリット	23	1.0%	<b>25</b>	<b>1.0%</b>	<b>+1</b>	<b>+8.3%</b>
内外装パネル	7	0.3%	<b>7</b>	<b>0.3%</b>	<b>△0</b>	<b>△9.4%</b>
海外事業	11	0.5%	<b>11</b>	<b>0.5%</b>	<b>+0</b>	<b>+6.0%</b>

※その他の売上高を含む



# 製品部門別の売上高（四半期別対比）

Takara standard

単位：億円

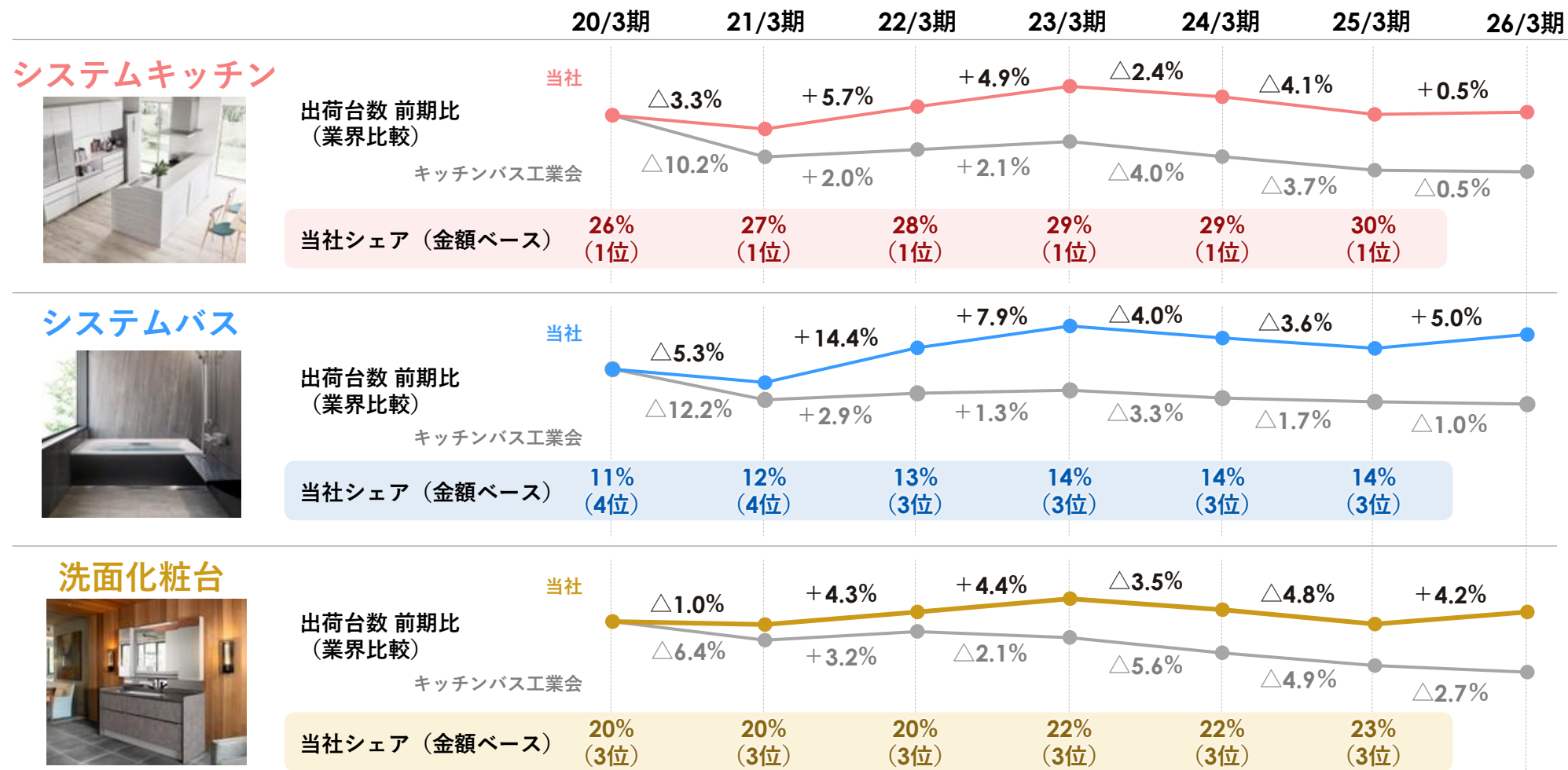
	2025年3月期								2026年3月期															
	1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		4Q (1-3月)		1Q (4-6月)				2Q (7-9月)				3Q (10-12月)				4Q (1-3月)			
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率
キッチン	342	59.7%	359	61.3%	416	60.9%	372	63.2%	368	60.0%	+26	+7.6%	381	61.8%	+22	+6.2%	423	60.9%	+6	+1.6%	374	62.3%	+1	+0.5%
浴室	142	24.9%	136	23.3%	159	23.4%	118	20.1%	151	24.8%	+9	+6.5%	139	22.6%	+2	+2.0%	166	23.9%	+6	+4.1%	129	21.6%	+11	+9.3%
洗面化粧台	64	11.3%	67	11.5%	81	11.9%	73	12.4%	71	11.7%	+6	+10.8%	75	12.2%	+7	+11.8%	84	12.1%	+2	+3.0%	74	12.4%	+1	+1.8%
合計*	573	100.0%	586	100.0%	683	100.0%	590	100.0%	613	100.0%	+40	+7.1%	617	100.0%	+31	+5.3%	695	100.0%	+11	+1.7%	600	100.0%	+10	+1.7%

※その他の売上高を含む

## 新規及び海外事業(内数)

ガラスフリット	6	1.1%	5	1.0%	6	0.9%	5	0.9%	6	1.1%	+0	+4.0%	6	1.0%	+0	+9.3%	6	1.0%	+0	+5.7%	6	1.1%	+0	+15.0%
内外装パネル	1	0.3%	2	0.3%	2	0.3%	2	0.4%	1	0.3%	△0	△1.4%	1	0.3%	△0	△19.9%	1	0.3%	△0	△18.6%	2	0.4%	+0	+4.4%
海外事業売上	2	0.5%	3	0.5%	2	0.4%	2	0.4%	2	0.4%	△0	△3.0%	2	0.5%	△0	△5.2%	3	0.5%	+0	+17.7%	2	0.5%	+0	+17.3%

出荷台数の前期比は、新築向けの販売が好調に推移したことで業界を上回った。  
20年3期基準でも全製品部門で業界を上回り、当社シェアは拡大。



※キッチン・バス工業会は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の前期比を記載。26/3期は、一部当社推計値より前期比を算出  
※業界シェアは当社調べ

		2026年3月期			
		キッチン 1,547	浴室 587	洗面化粧台 305	
売上高 (単位: 億円)					
売上高 構成比		<p>リフォーム 22.2% 新築戸建 33.6% 新築集合 41.6%</p>	<p>56.5% 34.1% 7.9%</p>	<p>19.8% 19.4% 58.4%</p>	
売上高 前期比	新築	戸建	+ 2.9%	+ 6.5%	+ 8.5%
		集合	+ 5.9%	+ 9.3%	+ 6.3%
		計	+ 4.5%	+ 7.0%	+ 6.8%
	リフォーム	+ 1.5%	+ 3.6%	+ 5.5%	

# 貸借対照表

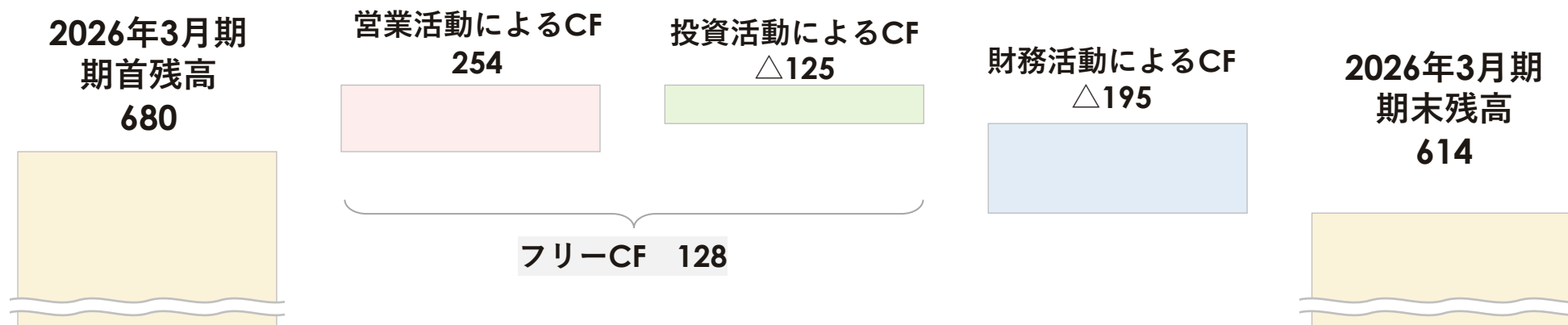
単位：億円

		2025年 3月末	2026年 3月末	増減	主な内容
資産	流動資産	1,603	1,528	△75	現金及び預金 △66 棚卸資産 △6
	固定資産	1,165	1,322	+157	有形固定資産 (うち建設仮勘定) +143 (+141)
資産合計		2,769	2,851	+82	
負債	流動負債	630	731	+101	仕入債務 +71
	固定負債	193	156	△37	退職給付に係る負債 △35
負債合計		824	888	+64	
純資産		1,945	1,963	+18	利益剰余金 △14 その他有価証券評価差額金 +11 退職給付に係る調整累計額 +26
負債純資産合計		2,769	2,851	+82	

【主な内訳】  
 純利益 +150  
 配当金の支払 △66  
 自己株の消却 △101

# キャッシュ・フローの状況

単位：億円



	2025年3月期	2026年3月期	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	596	680	
営業活動によるキャッシュ・フロー	233	254	税金等調整前当期純利益 211 減価償却費 76 法人税等の支払額 △54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84	△125	投資有価証券の売却による収入 26 有形固定資産の取得による支出 △149
フリーキャッシュ・フロー	149	128	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65	△195	短期借入金の減少額 △24 自己株式の取得による支出 △104 配当金の支払額 △66
現金及び現金同等物の期末残高	680	614	

1. 2026年3月期 決算概要 P. 6 ~ 16

**2. 2027年3月期 業績予想 P. 18 ~ 27**

3. Appendix P. 29 ~ 37

## 国内経済

雇用・所得環境の改善を背景として、引き続き緩やかな回復基調で推移。  
一方、地政学リスクの増大や海外経済の不確実性、物価高の継続に伴う消費マインドの低下懸念など、先行きは不透明。  
原材料価格は、一旦落ち着きを見せたものの、再び上昇傾向で推移している状況。

## 住宅市場

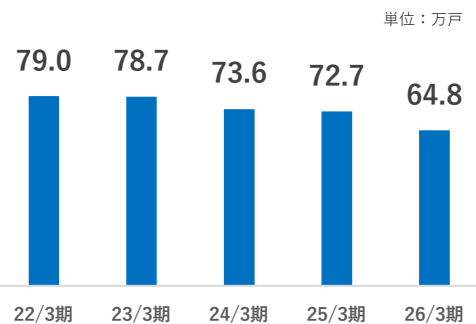
新設住宅着工戸数は2025年4月の建築基準法等改正に伴う落ち込みから回復する見込みではあるものの、住宅価格の高騰や住宅ローン金利の上昇は見込まれる。リフォーム市場では豊富な住宅ストックを背景に市場規模は微増と想定されるが、資材価格の上昇傾向や職人不足などによる需要減少や業界内での更なる競争激化は懸念材料。

## 為替/関税

現時点における当社の販売先は国内市場の比重が大きく、かつ仕入先も大半は国内企業となる。  
従って、為替及び関税の変動に対しては間接的な影響を受ける可能性はあるものの、直接的な影響は軽微。

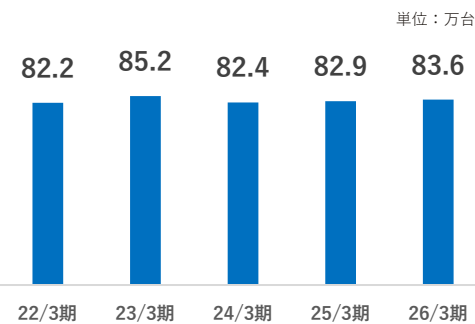
### 業界の動向

#### 新設住宅着工戸数(国土交通省)



※各年度の新設住宅着工戸数は4月～翌2月までの合計値

#### リフォーム市場への キッチン・浴室の出荷台数 (キッチンバス工業会\*)



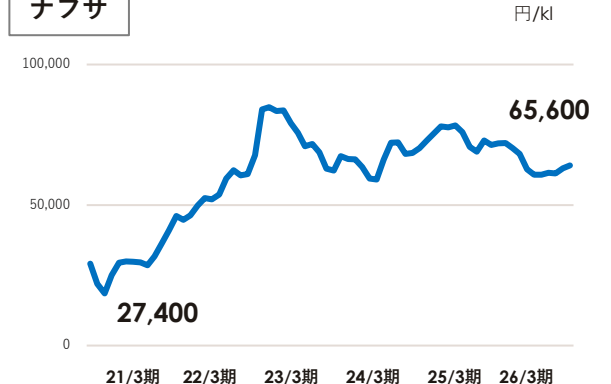
※一部当社推計値

### 主な資材の市況

#### 冷延鋼板



#### ナフサ



## 売上高

**2,600億円 (前期比+72億円、+2.9%)**

- 新築戸建 : 増収予想。上期は建築基準法等改正による駆け込み需要の反動を一定見込むものの、シェア拡大及び販売単価の上昇を引き続き進める。
- 新築集合 : 増収予想。首都圏を中心に受注残は堅調。グレードアップ提案やオプション拡販で単価上昇を進める。浴室販売にも注力。中期的な収益力向上にむけ、価格改定及び高級ブランドの立ち上げも実施。
- リフォーム : 増収予想。幅広い商品ラインナップの提案を継続し販売数量の増加を見込むとともに、一部製品で価格改定も実施。更なる売上拡大のため、リフォーム主力プレイヤーへの提案継続。

## 営業利益

**208億円 (前期比+17億円、+9.0%)、営業利益率8.0%(前期比+0.4p)**

- 新築部門の販売単価上昇、相対的に粗利率の高いリフォームの売上拡大
- 経費面は、原材料価格の高騰や人的資本投資の充実のほか、インフレに伴う各種経費の増加は見込むものの、増収及び合理化・コストダウンの取り組みの推進により、売上総利益額の増加が上回る想定

## 純利益

**154億円 (前期比+3億円、+2.2%)**

- 営業増益に加え、政策保有株、遊休不動産などの非事業用資産の売却を計画

## ROE

**8.0% (前期比+0.3p)**

- 増益に加え、公表通り総還元性向130%水準の株主還元を実施
- 加えて、福岡工場の新棟建設をはじめ成長に向けた設備投資も拡充することで、キャッシュポジションが縮減

単位：億円

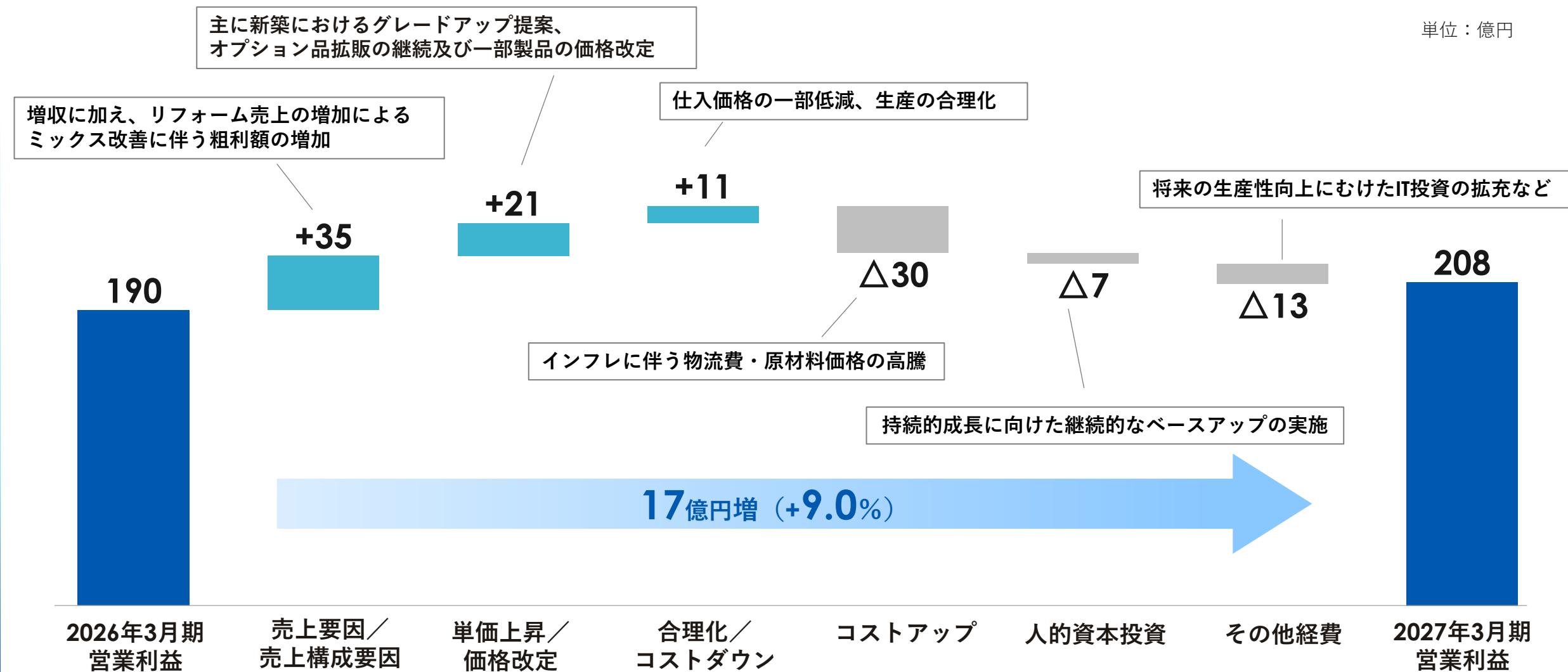
	26年3月期 実績	27年3月期 中計目標※	27年3月期 予想	前期比		中計目標比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	2,527	2,500	2,600	+72	+2.9%	+100	+4.0%
営業利益	190	200	208	+17	+9.0%	+8	+4.0%
営業利益率	7.6%	8.0%	8.0%	+0.4P	—	±0.0P	—
経常利益	196	—	215	+18	+9.3%	—	—
純利益	150	—	154	+3	+2.2%	—	—
ROE	7.7%	8.0%	8.0%	+0.3P	—	±0.0P	—

※中期経営計画2026の最終年度目標として、2024年5月9日に公表した業績目標(ROE目標は2025年5月8日に改定)

- 中東問題に伴う資材不足や価格高騰等の影響に対し、複数の調達先確保などを通じ、安定的な事業運営が行えるよう努めており、今後も状況の変化に応じて適切に対応していく
- 状況は非常に流動的で、当該影響額の算定は不確実性が高いため、業績予想の信頼性確保を重視し、現時点で織り込んでいないが、引き続き関連動向を注視し、業績に重要な影響が見込まれる場合には速やかに開示

# 2027年3月期予想 営業利益の増減要因

単位：億円



- 2026年3月期の実績は242億円と例年より大きく増加したが、うち113億円が福岡工場の新棟建設への投資
- 2027年3月期も引き続き福岡工場新棟へ143億円を投資するとともに、生産性の向上にむけた生産関連投資、IT関連投資などを含め、積極的な投資を計画

単位：億円

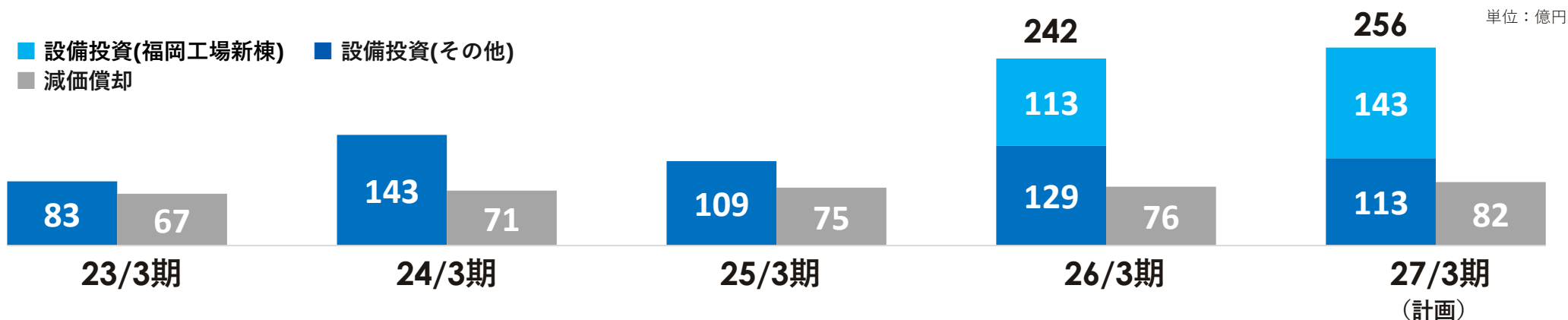
	<b>2027年3月期 計画</b>
設備投資額	<b>256</b>
減価償却費	<b>82</b>



## 主な内訳

単位：億円

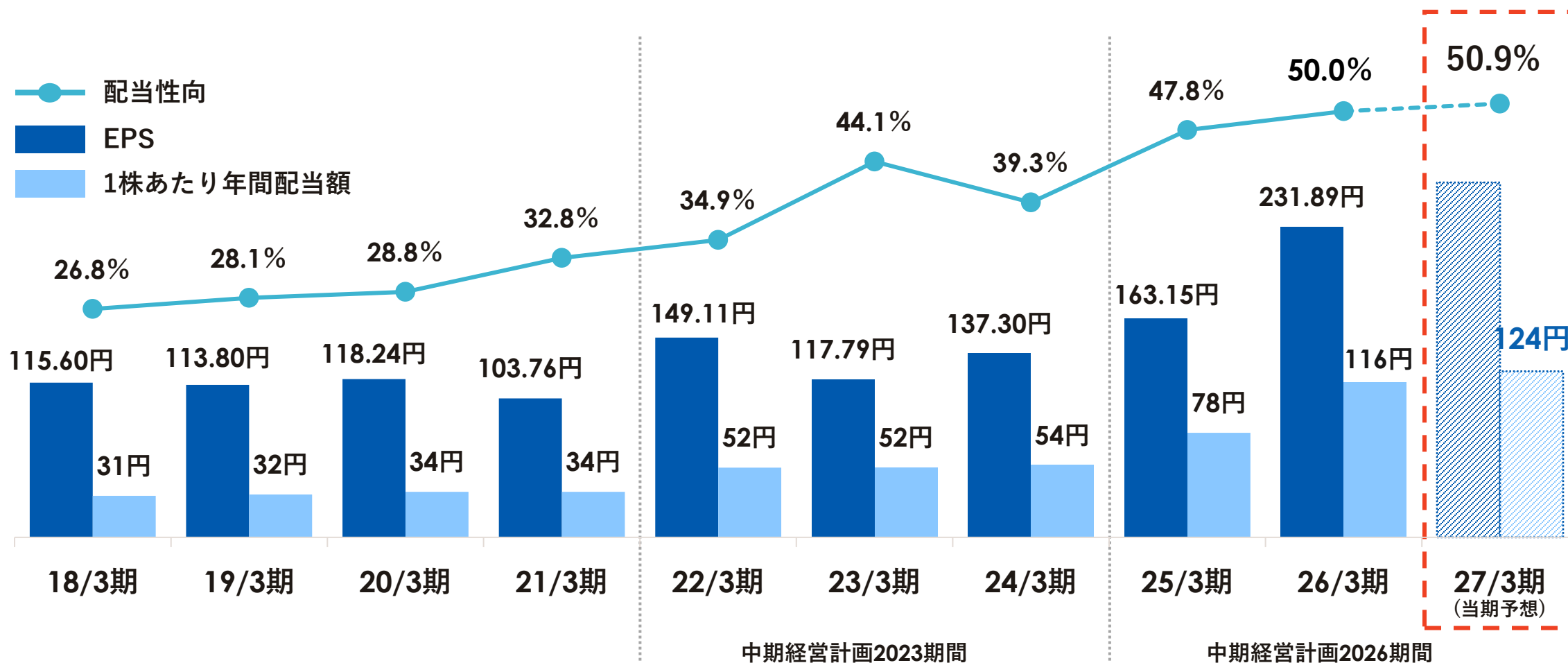
項目		金額	主な内容
生産関連	福岡工場新棟	<b>143</b>	ホーロー浴室パネルの生産能力増強に向けた新棟建設に係る建物・設備投資
	その他	<b>54</b>	自動化・省人化による生産効率化投資、生産設備の増設などの増産対応、他
システム関連		<b>20</b>	IT関連投資（DX化の推進、他）
建物事務関連		<b>22</b>	オフィス環境整備、建物維持管理、他



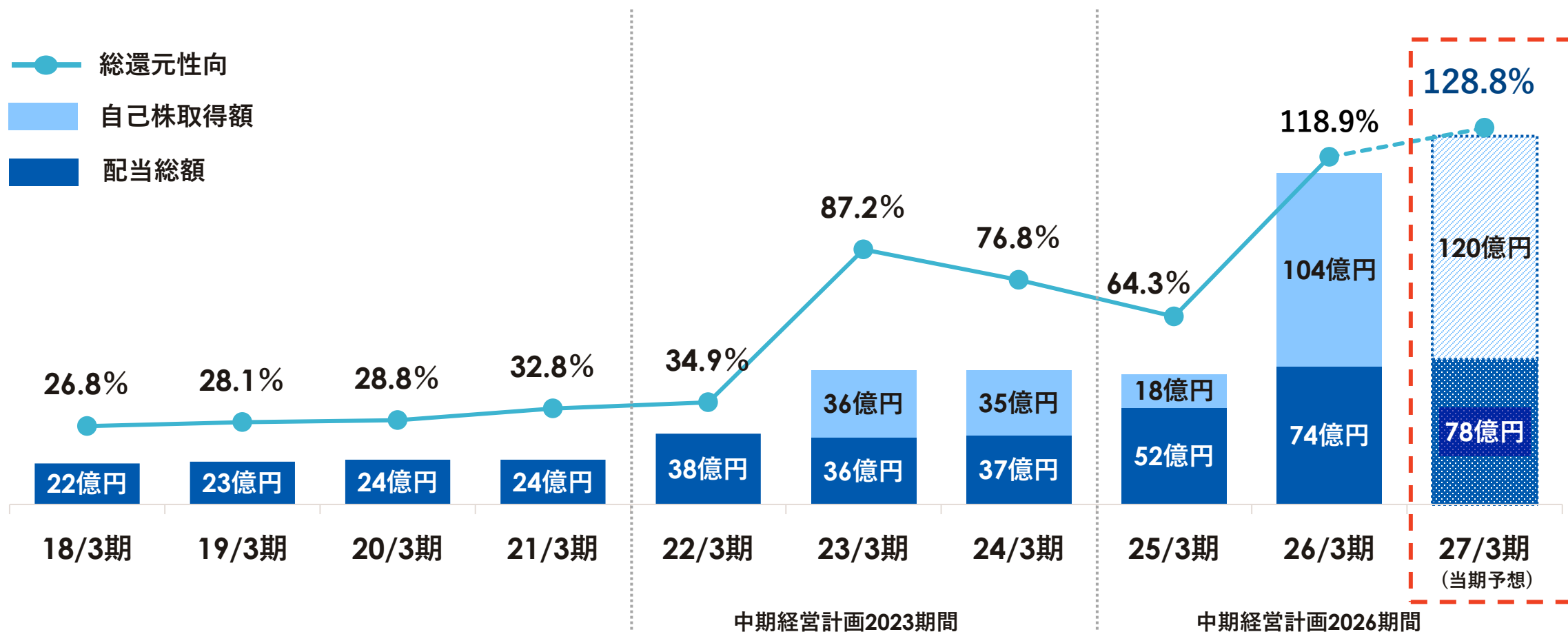
株主還元方針	配当金	<b>新株主還元方針</b> <b>配当性向50%</b> (現中計期間3年総額 約200億円) 利益成長に伴う累進配当
	自己株式取得	26/3期～27/3期 <b>約220億円の取得</b> (現中計期間3年総額 約240億円)
株主還元の考え方		持続可能な成長基盤の構築に向けて、成長投資や経営基盤強化等に資本を積極的に配分するとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元の充実を図る <b>現中計期間においてROE8%実現に向けて、配当に加え自己株式の取得による株主還元も積極的に活用する</b>

中計2026終了(2027年3月期)以降については、その時点での財務状況や投資案件によるものの、  
**2031年3月期のKPI(ROE10%)や株価向上を強く意識して決定**

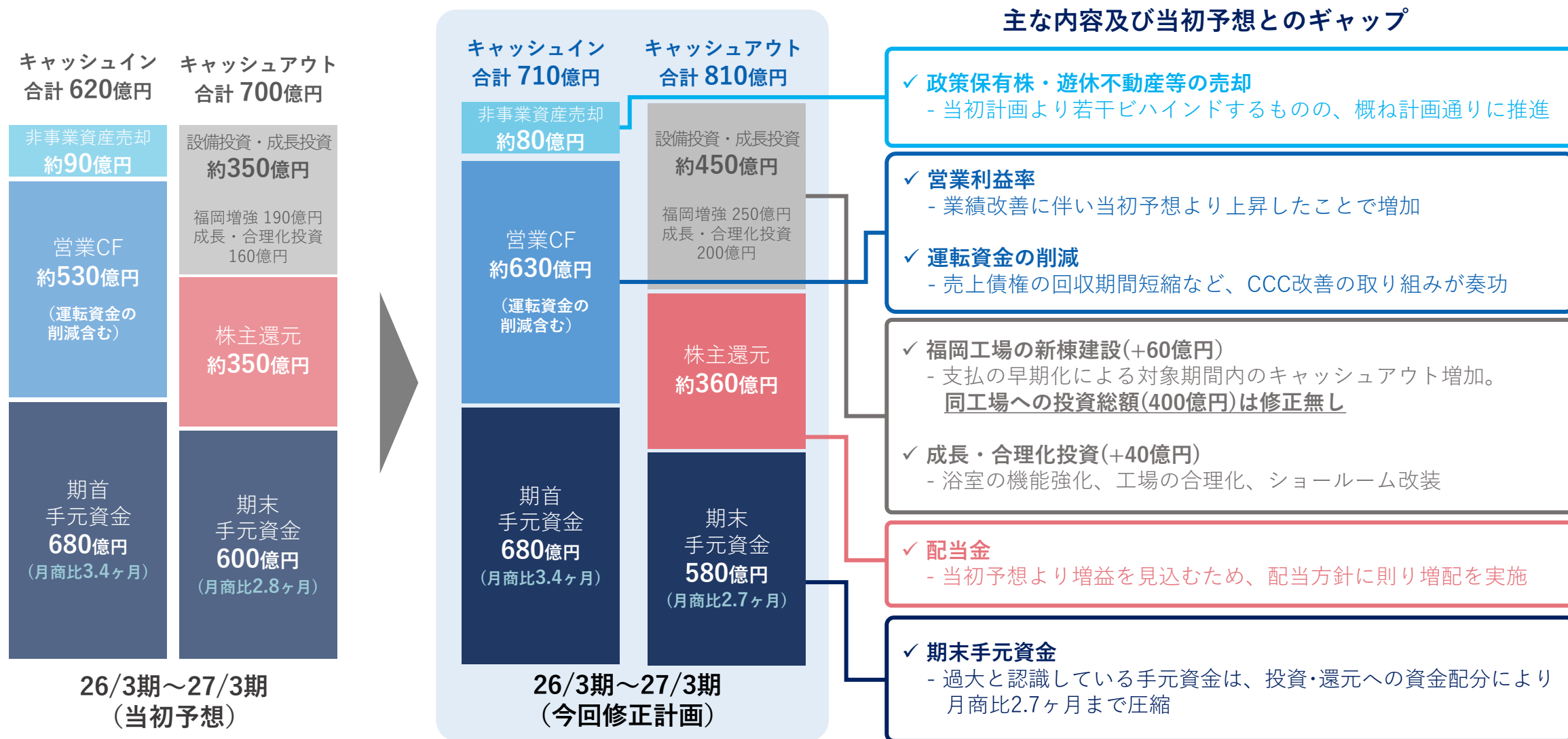
- 配当性向50%水準の配当方針に則り、26/3期は当初の配当予想100円から**16円増配の年間116円**(中間50円、期末66円)
- 27/3期は、前期から**8円増配の年間124円**(中間62円、期末62円)を予定
- 当社では従前から安定配当を基本に、記念配当を除き現在まで34期連続で減配なし
- EPS成長を続けながら、直接的な株主還元も強く意識していく



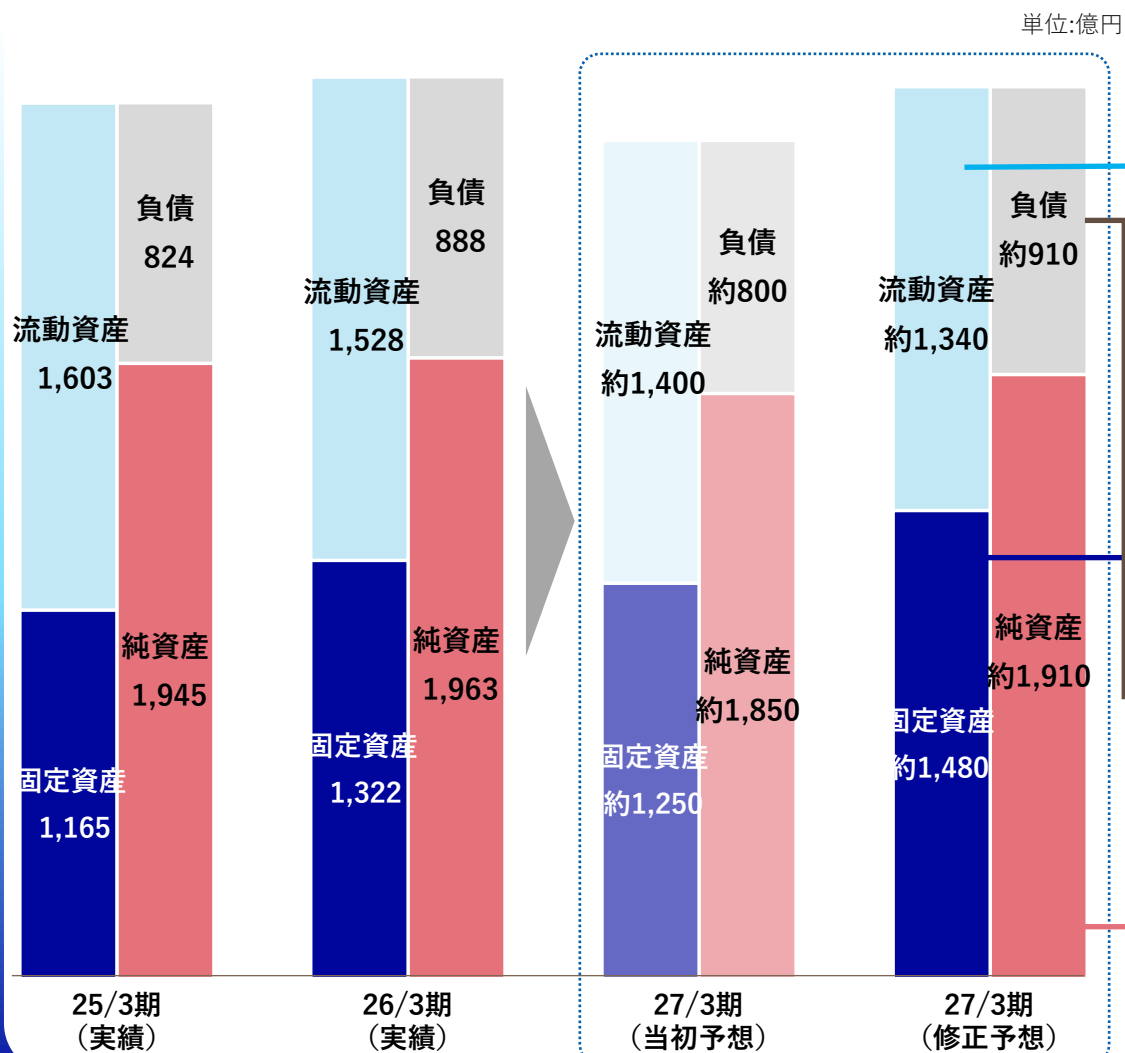
- ・ 前中期経営計画期間から自己株式取得を推進し、総還元性向は高水準で推移
- ・ 目標ROE8%の達成、更には恒常的なPBR1倍超えに向け、更に加速
- ・ 26/3期及び27/3期は、純資産の縮減に向け、自己株式約220億円を取得し、総還元性向は130%水準
- ・ 26/3期は104億円を実施済み、27/3期は上限120億円を実施予定



2025年5月に公表した予想からイン・アウトともに増加見込みだが、元々予定していた設備投資における支払いの前倒しが主要因であり、株主還元も含めた方向性に修正は無い。



2027年3月期の想定バランスシートについて、福岡工場の新棟建設に係る大型投資のBS計上時期が当初想定から前倒しになったものの、総じては想定通りに推移しており、ROEの向上にむけた純資産の縮減が図れている。



## 主な内容及び当初予想とのギャップ

### 【流動資産】 ▲60億円

運転資金の削減を推進するなかでCCCの改善が当初想定以上に進展する一方、福岡工場への大型投資の支払早期化や設備投資枠の拡大に伴い現預金が縮減する見通し

### 【固定資産】 +230億円

非事業用資産(政策保有株・不動産)は当初想定に近い水準で削減が進む一方、福岡工場への大型投資の支払早期化や設備投資枠の拡大、保有株式の時価上昇などにより、当初予想より増加する見込み

### 【負債】 +110億円

主に福岡工場への大型投資に係る支払早期化に伴う債務増加を見込む

### 【純資産】 +60億円

26/3期～27/3期にかけて総額約360億円の株主還元を実施することで、自己資本の圧縮を行う一方、想定より業績が好調であることに加え、保有株式の時価上昇もあり、当初予想からは増加する見込み

1. 2026年3月期 決算概要 P. 6 ~ 16

2. 2027年3月期 業績予想 P. 18 ~ 27

**3. Appendix P. 29 ~ 37**

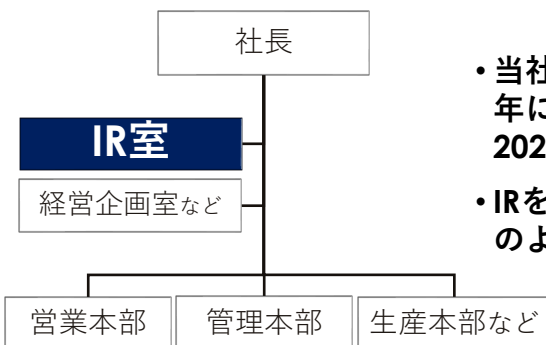
## 東証が選定する資本コスト経営の取り組み事例に掲載



- ・昨年5月に中計のアップデートとして「ROE8%の達成に向けた新株主還元方針と利益成長の取り組み」を公表
- ・本資料が東証が選定する「資本コストや株価を意識した経営」の事例集に掲載

出所：日本取引所グループ <https://www.jpx.co.jp/equities/follow-up/jr4eth000004vj2-att/t13vrt00000dlib.pdf>

## IR部門を代表取締役社長直轄の組織へ移行



※上記の組織図は概略

- ・当社ではIR体制の強化を段階的に推進。2023年に専任組織を設置後、2025年に部格へ昇格、2026年4月より社長直轄の「IR室」へ改組
- ・IRを経営戦略の中核に位置付け、株式市場とのより建設的かつ機動的な対話を推進する

## 機関投資家向け施設見学会を初開催



- ・事業内容の理解促進に向け、3月に機関投資家向けの施設見学会を初開催
- ・当日は当社の新宿ショールームでキッチンをはじめとする製品をご紹介
- ・見学会後は、代表取締役社長の小森による会社説明会も開催

## “世界初”の人工流れ星実証プロジェクト「Starlight Challenge」に協賛



プロジェクト始動発表会  
ALE 代表取締役 CEO 岡島氏(右)、当社代表取締役社長 小森

- ・株式会社ALE による世界初の人工流れ星実証プロジェクト「Starlight Challenge」に協賛
- ・当社は、流れ星を発生させる人工衛星にソーラーパネルを取り付け、宇宙空間におけるソーラーの状態を観測し、今後の宇宙プロジェクトの推進に繋げる

[https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press\\_release/RELEASE\\_20260204.pdf](https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20260204.pdf)

## 新規事業として家事代行サービス「saikou!」提供開始




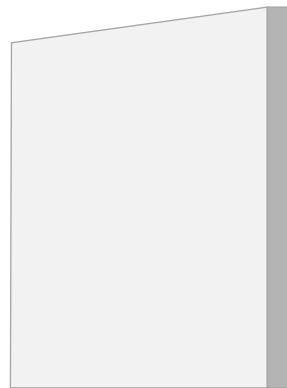
- ・家事代行サービスのパイオニア、株式会社ベアーズと提携し、当社ショールーム来場者を対象とした家事代行サービス
- ・住宅設備機器事業に次ぐ新たな事業の創出を目指す一環

[https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press\\_release/RELEASE\\_20260327.pdf](https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20260327.pdf)

## ホーローとは？

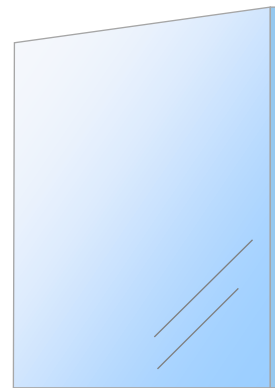
金属の表面にガラス質の釉薬を焼き付けた複合材料。  
金属の強さとガラスの美しさなど、それぞれの長所を最大限に活かした夢の素材です。

 高温で焼き付けて密着！

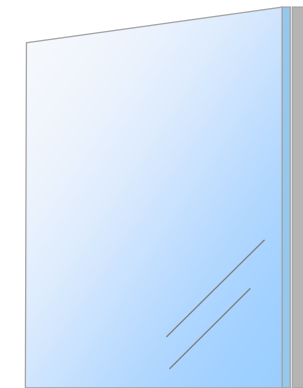
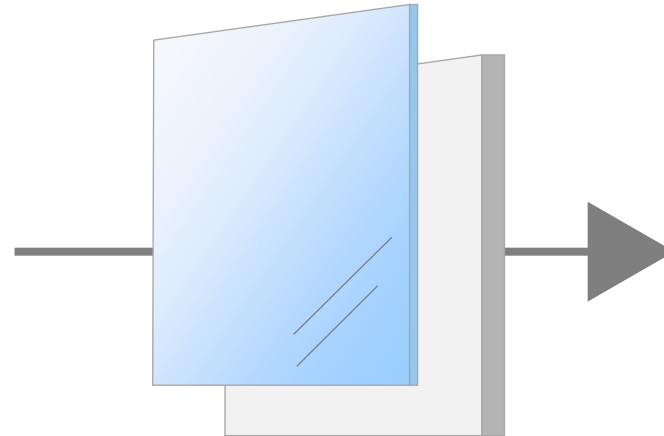


鋼板（金属）

+



ガラス質（釉薬）



高品位ホーロー

お手入れカンタン



湿気に強い



キズに強い



熱に強い



マグネットが  
使えて便利



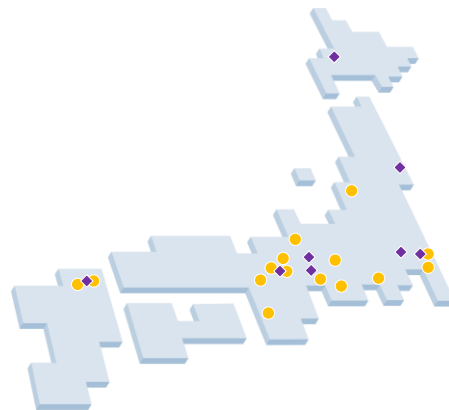
ニオイも平気



## お客様のニーズに合わせた様々な製品を各地で生産、物流拠点を整備

- ✓ 大規模物件に対応できる生産・物流能力
- ✓ 拠点の分散配置により、自然災害などのリスク回避

● 生産拠点 計 **15**カ所



◆ 物流拠点 計 **8**カ所

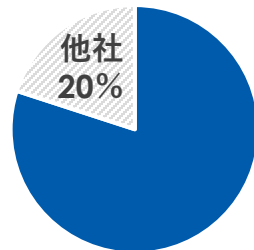


取引先から高い評価を獲得し、新築集合向けキッチン・洗面化粧台は高シェア



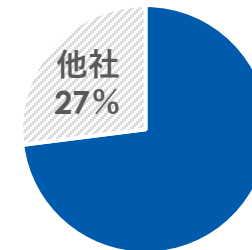
キッチン (台数)

当社 **80%**



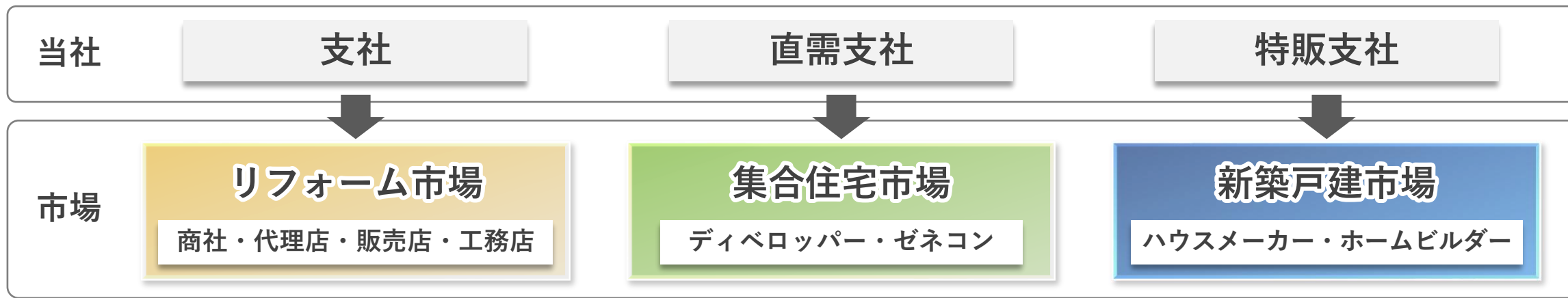
洗面化粧台 (台数)

当社 **73%**



※新築集合住宅市場 (分譲) における出荷台数シェア (2024年度 当社調べ)

各市場に対応した専門の営業組織を配置し、きめ細かな営業活動を実現



お客様が商品を「見て、触れて、納得」いただける地域密着型のショールームを展開

業界最多

全国47都道府県に  
約160カ所



ホームページではリフォームの情報収集に役立つWEBコンテンツをご用意



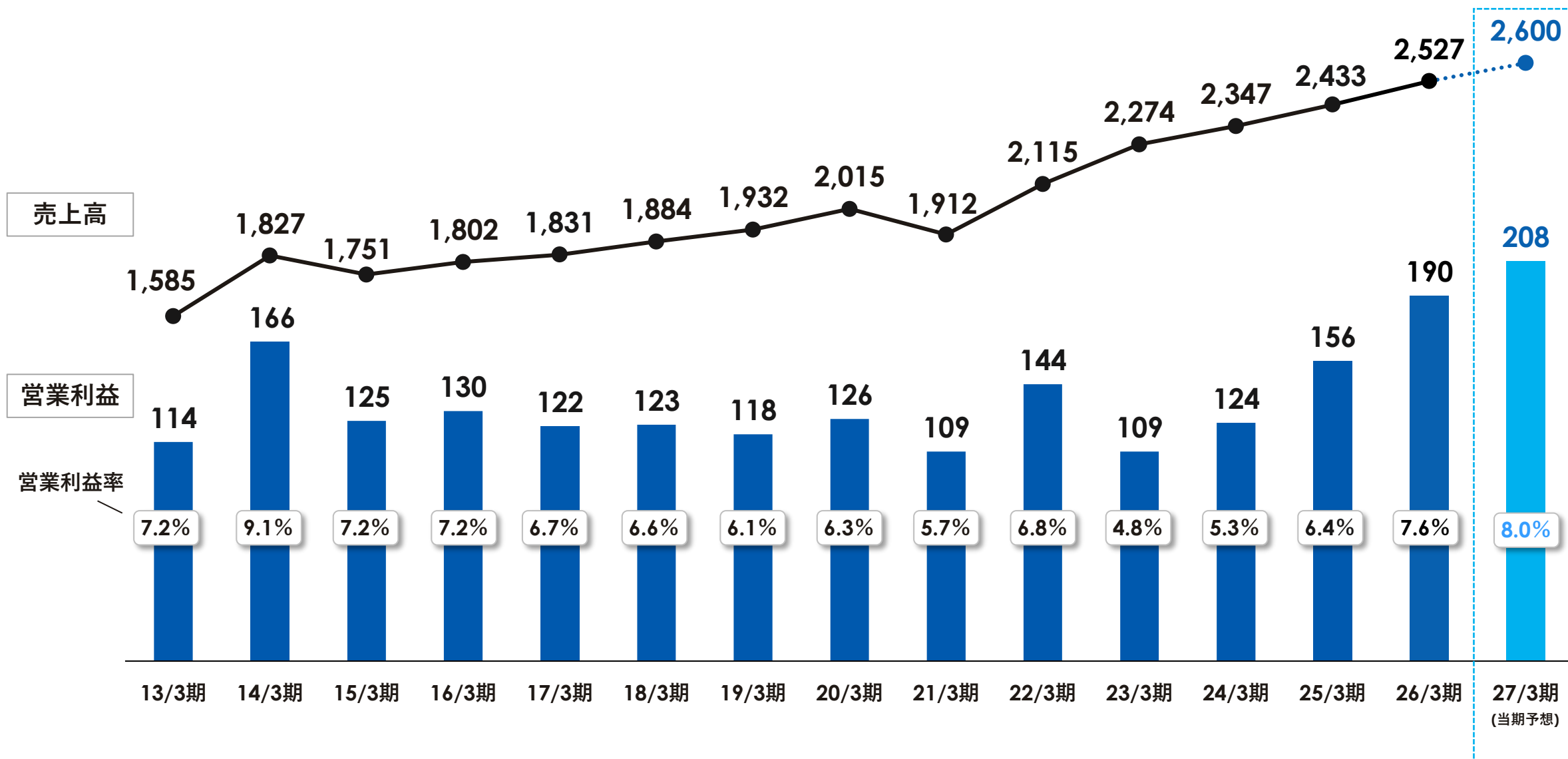
当社と提携している高い実績と豊かな経験を持つ、リフォーム店が加盟する組織。水まわりリフォームのパートナーを探ることができます。



			2025年3月期		
			キッチン	浴室	洗面化粧台
売上高 (単位: 億円)			1,490	557	286
売上高構成比					
売上高前 期比	新築	戸建	+8.1%	+7.9%	+0.2%
		集合	+10.4%	+19.6%	+10.5%
		計	+9.4%	+9.8%	+7.8%
	リフォーム	△5.1%	△3.4%	△2.5%	

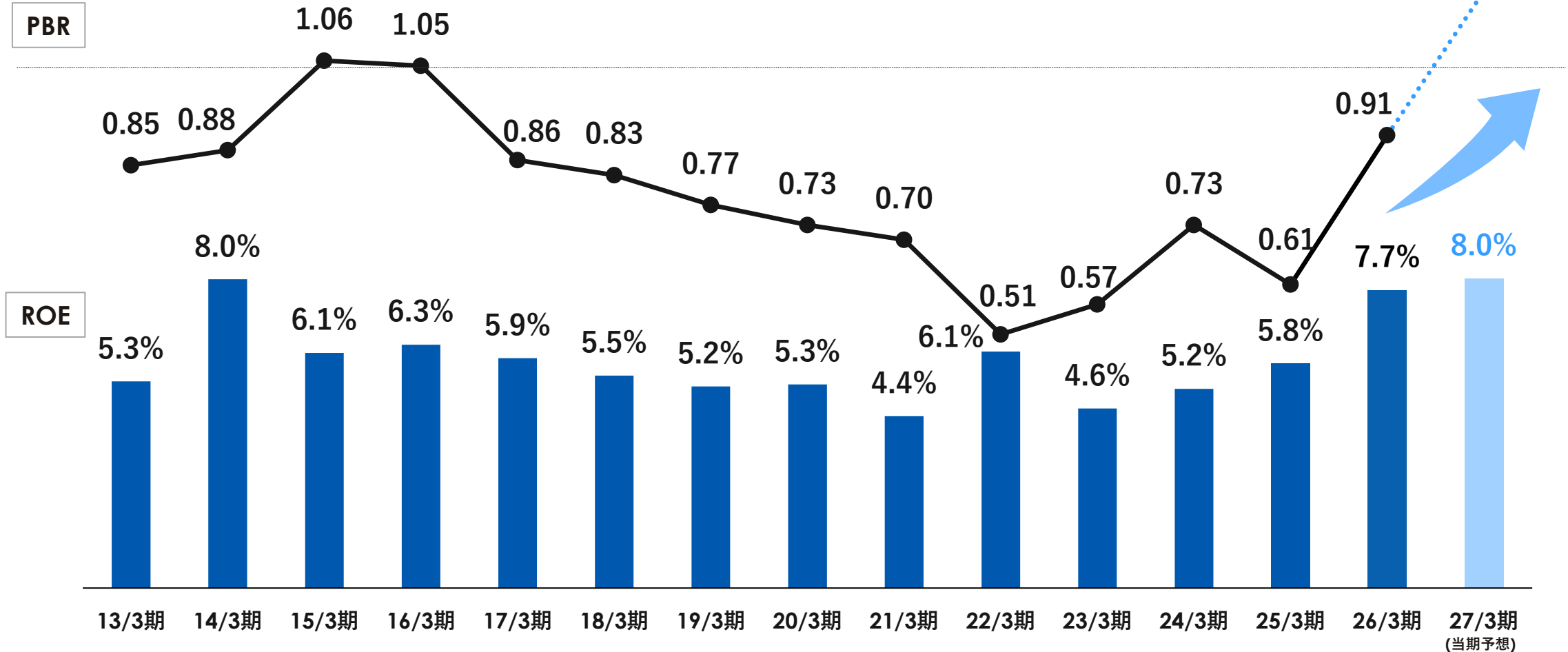
# 売上高 及び 営業利益の推移

単位：億円



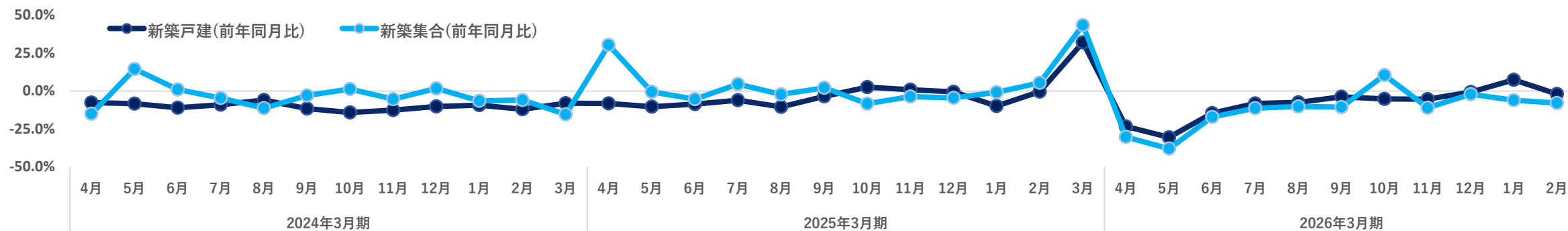
※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2021年3月期は遡って適用した数値となっておりますが、2020年3月期以前の各数値は遡及適用しておりません。

- ・ 早期のPBR 1倍達成を目指し各戦略を進めるなか、2026年1月には約10年振りにPBR1倍に到達
- ・ ここを新たなスタートとして、ROE向上によるエクイティスプレッド拡大に取り組み、まずは恒常的なPBR1倍越えを目指す

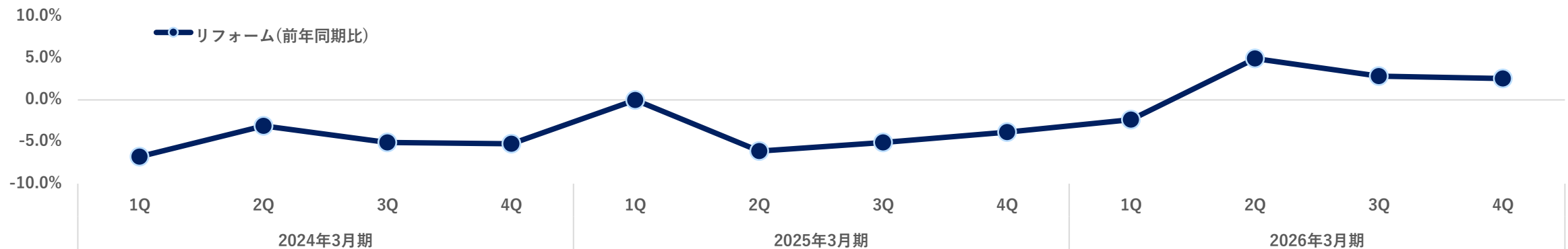


## ● 新築戸建・集合 関連データ (国内における新築着工数の前年比)

※国土交通省「建築着工統計調査」を一部編集



## ● リフォーム 関連データ (弊社ショールームにおけるリフォーム目的の来場者前年同期比)



## ● 海外における現地代理店ショールーム数

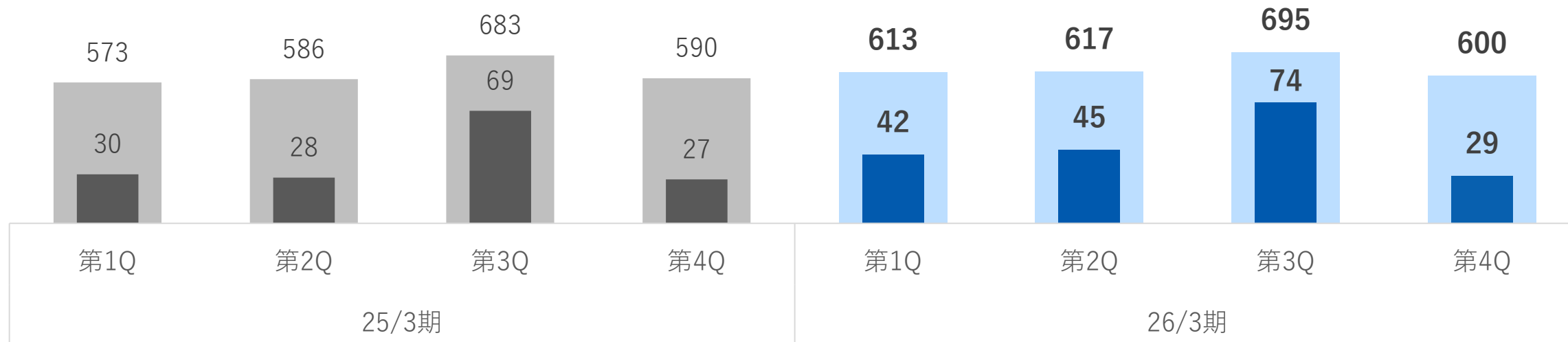
単位：ヵ所

	中国	台湾	ベトナム	その他	合計
2026年3月末	29	34	4	5	72
2025年3月末比	△1	+2	△2	±0	△1

## 売上高・営業利益の四半期別推移

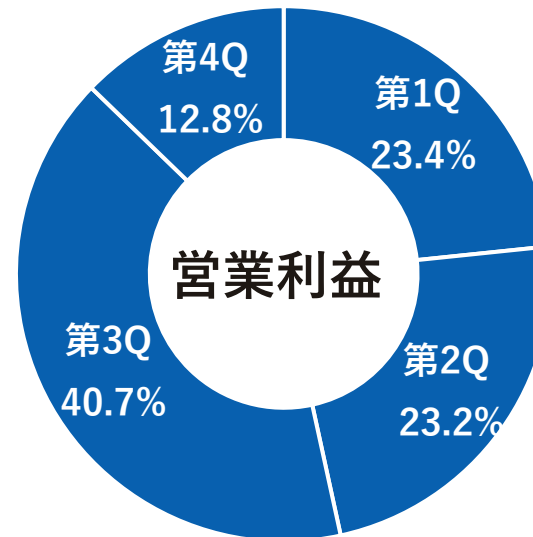
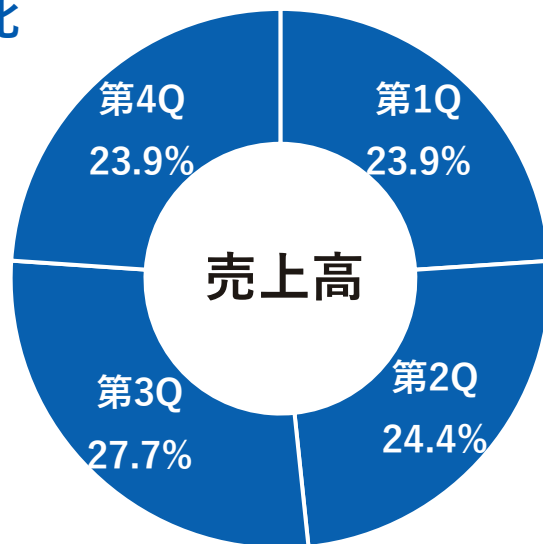
■ 当期実績 ■ 前期実績

単位：億円



## 四半期別業績構成比

(過去5年平均)



< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社

IR室

TEL

06-6180-6677

E-mail

[ir@takara-standard.co.jp](mailto:ir@takara-standard.co.jp)

水まわりって、大切だから

**Takara standard**

本資料は、公表時点の計画に基づく予測が含まれています。

これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。